

氏名: 建築 構造

記入例

<CPD実施記録簿>

(以下の表に実施したCPDプログラム全てについてご記入下さい。)

実施したCPDプログラムについて下記の書式に従い、記入して下さい。

- 1.プログラムNo欄には、1～連番を記入のこと。
- 2.形態欄には、『CPDの形態』の表の分類に該当する番号1-1～4-1を記入のこと。(「CPDの形態とCPD時間数(重み付け)係数」参照)
- 3.分野欄には、『CPDの分野』の表の分類に該当する番号Ⅰ～Ⅳを記入のこと。(「CPDの分野」参照)
- 4.開始日、終了日欄は、西暦で記入のこと。
- 5.内容欄には、①参加学習型又は情報提供型の場合:講習会等の内容を30字程度で記入のこと。
②自己学習型の場合:内容について180字程度で記入のこと。
③実務学習型の場合:内容について50字程度で記入のこと。
- 6.修得した内容欄には、自己学習型又は実務学習型の場合:内容について180字程度で記入のこと。

プログラムNo	プログラム名	形態	分野	研修時間	開始日	終了日	主催	内容	修得した内容
1	建築構造用鋼材とその技術	1-2	Ⅱ	2.0	2010/12/01	2010/12/01	日本鉄鋼連盟	建築構造用鋼材の規格、冷間成形角型鋼管設計施工マニュアル (30字程度)	-
8	〇〇県建築安全条例の改正	2-1	Ⅰ	3.0	2010/05/15	2010/05/15	〇〇建築士会	建築基準法の改正の動向と〇〇県の条例改正、建築安全条例の改正 (30字程度)	-
9	鋼構造委員会 5回出席(2h/回)	2-3	Ⅱ	10.0	2009/12/01	2010/04/30	〇〇センター	鉄骨造の特殊な接合方法、継ぎ手又は仕口等についての構造 安全性審査 (30字程度)	-
15	建築技術5月号「床スラブ の工法と設計上の留意点」	3-1	Ⅱ	2.0	2009/12/01	2009/12/02	建築技術	在来工法に代わる床スラブ工法は、1970年代に開発されて以来、多様な要求に応えるため様々な床スラブ工法が開発・改良されてきた。建設現場における無支保工化や仮設材の削減、工期の短縮等建築の構築方法を大きく変えてきた。床スラブ工法のうち、比較的普及しているデッキプレート床工法、ハーフPC合成床工法及びフルPC床工法について、その概要と設計上留意点について細読した。 (180字程度)	デッキプレート床工法はコンクリートのひび割れ(特に支持縁)に生じるひび割れ対策、ハーフPC合成床工法は構造上の弱点となる版接合部の検討、フルPC床工法は地震時面内せん断力を確実に梁に伝達することが必要なこと等、日頃感じている床スラブ工法特有の問題点や実務における工法の選択方法、設計方法の留意点として非常に参考となった。今後は非実務に反映したい。 (180字程度)
20	〇〇〇ビル新築工事の基本 設計及び実施設計(構造設計担当)	4-1	Ⅱ	1500.0	2010/04/01	2011/08/01	〇〇〇設計事務所 構造設計部	所在地:東京都、延べ面積2500㎡、階数:地上7階地下2階、構造:鉄骨鉄筋コンクリート造、用途:商業施設 (50字程度)	建築物の竣工時期が決定しており、工期を踏まえると設計のスケジュールも非常にタイトであった。特殊な構造の建築物であったので、実施設計の段階で施工業者を交えた協議を定期的に行うこととし、常に施工サイドを意識しながら設計することができ、竣工まで感動や驚きの連続であった。協力体制の重要性を改めて認識し、構造設計の醍醐味を十分に感じる事ができたプロジェクトであった。 (180字程度)